

科目名	Basic Keyboard (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして29年。						
授業の学習 内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	・譜面の読み書きができるようになる。・コードの基礎を学び、様々なコード進行を両手で弾けるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	フォーム、演奏前の基礎知識を学ぶ。	指番号、音名、音符について予習、復習。
2	5月10日	講義・演習	クロマチック、音階、音程、練習方法を学ぶ。	授業の復習、M3rd,m3rdについて予習。
3	5月17日	講義・演習	ダイアトニックコード、運指トレーニング方法を学ぶ。	音程の感覚を復習、練習。
4	5月24日	講義・演習	M,mコード、転回形、ディグリーについて学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
5	5月31日	講義・演習	I-IV-V-I、I-V-IV-I、IV-I-V-I、V-I-IV-I	T、SD.Dの機能を復習、練習。
6	6月7日	講義・演習	7th、II m-V7-I、I-IV-II m-V7-Iの動きを学ぶ。	音の動き(II,V,I)の感覚を復習、練習。
7	6月14日	講義・演習	VI m、VIMが入ったコードワークを学ぶ。	IとVI mの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
8	6月21日	講義・演習	III m、III Mが入ったコードワークを学ぶ。	IとIII mの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
9	6月28日	講義・演習	4和音について学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
10	7月5日	講義・演習	m7 b5、dim、aug、クリシェ進行を学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
11	7月12日	講義・演習	sus4、add9、7sus4ドミナントの置き換えを学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
12	7月19日	講義・演習	作曲、メロディー、リズムの仕組みについて学ぶ。	自由に作曲してみる。試験の準備。
13	8月23日	講義・演習	試験、アドバイス	試験、アドバイスの復習。イベント準備。
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して客観的感覚、仕組みを学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。				

科目名	Basic Keyboard (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして29年。						
授業の学習 内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	・コードの基礎を学び、コード譜面を見て両手で弾けるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	マイナースケールとダイアトニックコード。	復習、転回形での練習。
2	10月11日	講義・演習	I m-IVm-V-I からの発展コードワークを学ぶ。	復習、転回形での練習。
3	10月18日	講義・演習	曲①構成を理解して抑揚をつける。応用。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
4	10月25日	講義・演習	左手のベースラインの動かし方。シンコペーション。	復習、パラディドル練習。
5	11月1日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。オブリガード。	復習、曲を聞いて練習。
6	11月8日	講義・演習	曲②オンコードの演奏方法を学ぶ。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
7	11月15日	講義・演習	左手のベースラインと右手のポジション	復習、各Keyで対応できるように理解して練習。
8	11月22日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。アクセント、音の長さ。	復習、曲を聞いて練習。
9	11月29日	講義・演習	曲③イントロ、エンディングの付け方。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
10	12月6日	講義・演習	ペダルの効果的な使い方、細かいテクニック	復習、曲を聞いて練習。
11	12月13日	講義・演習	弾き歌いのコツや聞かせ方。	復習、録音をして聞き返すなどの客観的練習。
12	12月20日	講義・演習	作曲して伴奏。ハーモニー、リズム、表現方法。	総復習。
13	1月10日	講義・演習	試験、アドバイス	復習。イベントの準備。
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通してライブに必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後活かせる準備と練習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。				

科目名	DTM(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲 哲也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リクラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使っでの打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Logic)を使ってアレンジする事を目的とする。YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人のできる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ソフトシンセをインストゥルメントトラックにセットして音を出す事ができる。	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
2	4月27日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
3	5月11日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
4	5月18日	講義・演習	MIDIノートの入力方法と編集方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
5	5月25日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
6	6月1日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
7	6月8日	講義・演習	MIDIクリップの取り扱い方を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
8	6月15日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
9	6月22日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
10	6月29日	講義・演習	マルチティンバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
11	7月6日	講義・演習	マルチティンバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
12	7月13日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
13	8月24日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	音響電気知識Basic(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	澤口哲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	オーディオエンジニア・レコーディングエンジニア・スタジオ建設アドバイザーとして活動						
授業の学習 内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器(スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ)を電気回路の動作で解説し、音響用ケーブルの製作や機器の動作調整などで、工具や機器の使用方法を学ぶ。						
到達目標	音と電気との関係についての基礎知識を身につけてもらい、音響機器の基本的な使用方法や維持管理が出来るようになることを目標とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	ガイダンス・基礎知識	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
2	4月28日	講義・演習	電源・電流・直流・交流・GNDの違いについて	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
3	5月12日	講義・演習	ケーブル・コネクタの種類やその役割について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
4	5月19日	講義・演習	工具や測定器の使用手法について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
5	5月26日	講義・演習	キャンケーブルの製作	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
6	6月2日	講義・演習	キャンケーブルの製作	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
7	6月9日	講義・演習	6週で学んだ内容についての確認(小テスト)	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
8	6月16日	講義・演習	抵抗・抵抗の種類や役割、応用等について	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
9	6月23日	講義・演習	コンデンサ・コンデンサの役割と種類等	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
10	6月30日	講義・演習	トランジスタ・オペアンプの役割と種類等	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
11	7月7日	講義・演習	トランスの種類と役割	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
12	7月14日	講義・演習	音や電気の各電子部品への実際の流れを確認	JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
13	8月25日	講義・演習	5週で学んだ内容についての確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	イベント制作準備、機材の動作確認
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	イベント制作準備、機材の動作確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
音響調整卓、マルチトラックレコーダー、工具、デジタルテスター、オシロスコープ、モニタースピーカー、i-PAD、JAPLSレコーディング技術概論				

科目名	音響電気知識Basic(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	澤口哲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	オーディオエンジニア・レコーディングエンジニア・スタジオ建設アドバイザー						
授業の学習 内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器(スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ)を電気回路の動作で解説し、音響用ケーブルの製作や機器の動作などで、工具や機器の使用方法を学ぶ。						
到達目標	音と電気との関係についての基礎知識を身につけてもらい、音響機器の基本的な使用方法や維持管理が出来るようになることを目標とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期で学んだ内容についての確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
2	10月13日	講義・演習	マイクロフォンの構造と種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
3	10月20日	講義・演習	マイクロフォンの維持管理について(掃除、保管方法等)	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
4	10月27日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの種類や動作について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
5	11月3日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの種類や動作について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
6	11月17日	講義・演習	ヘッドアンプ、コンプレッサーの維持管理	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
7	11月24日	講義・演習	6週で学んだ内容の確認	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
8	12月1日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
9	12月8日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
10	12月15日	講義・演習	アナログレコーダーの仕組みや種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
11	1月12日	講義・演習	スピーカーの構造や種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
12	1月19日	講義・演習	スピーカーの構造や種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
13	2月2日	講義・演習	スピーカーの構造や種類について	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して機材動作を学ぶ	ノート・JAPLSレコーディング技術概論を目を通す
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
音響調整卓、マルチトラックレコーダー、工具、デジタルテスター、オシロスコープ、モニタースピーカ、i-PAD、JAPLSレコーディング技術概論				

科目名	Marketing(1) Marketing I A(3)	必修 選択	選択	年次	1.2	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとつで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要とされる必要とだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンタメ業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月24日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月8日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月15日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月22日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	5月29日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月5日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月12日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月19日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	6月26日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月3日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月10日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月21日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing (1) Marketing I B(4)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要とるに必要とだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういった仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンタメ業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	10月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月16日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	10月23日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	10月30日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	11月6日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	11月13日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	11月20日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	11月27日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	12月4日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	12月11日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	12月18日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	1月15日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(2) Marketing I A(3)	必修 選択	選択	年次	1.2	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要とるに必要とだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	4月24日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月8日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	5月15日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	5月22日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	5月29日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	6月5日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	6月12日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	6月19日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上でを行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	6月26日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	7月3日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	7月10日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	8月21日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Marketing(2) Marketing 1 B(4)	必修 選択	選択	年次	1.2	担当教員	黒須 亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要とされる必要とだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしながら、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月9日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月16日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月23日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	10月30日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月6日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月13日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	11月20日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	11月27日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上でを行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月4日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	12月11日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	12月18日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	1月15日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Design&Programming(1) Disital Design A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSMではこれまでWEB制作やマーケティングの他、動画コンテンツの制作などを指導。セルフプロデュース、セルフプロモーションできる力を養う事業内容を展開。						
授業の学習 内容	複数のPCソフトを使い分けながら、紙媒体広告・デジタル広告両媒体のプロモーションツール制作に求められるデザインの基礎力を学ぶ。						
到達目標	adobe製ソフト(premiere/illustrator/photoshop)の基本操作を習得し、動画、フライヤー、SNSカスタマイズなどプロモーションに必要な知識とスキルを身につけること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	ワークシート
2	4月24日	講義・演習	premiereの基礎。動画編集の基礎を学ぶ	自己PR、プロフィールをまとめておく。
3	5月8日	講義・演習	premiereの基礎。動画編集について実習	自分の動画、アー写を用意しておく。
4	5月15日	講義・演習	premiereのマルチカメラ編集を習得し、操作できる。	自分の動画、アー写を用意しておく。
5	5月22日	講義・演習	自己紹介動画の企画。学生自ら考える力をみにつけることができる。	ワークシート
6	5月29日	講義・演習	企画を元に自己紹介動画を作成する① 企画	ワークシート
7	6月5日	講義・演習	企画を元に自己紹介動画を作成する② 制作	ワークシート
8	6月12日	講義・演習	illustratorの基礎。基本操作を理解し、習得できる。	ワークシート
9	6月19日	講義・演習	illustratorの基礎。パス/テキストのデザインを理解し、習得できる。	illustratorの基本操作を復習しておく
10	6月26日	講義・演習	illustratorの基礎。カラーマネジメントを理解し、習得できる。	illustratorの基本操作を復習しておく
11	7月3日	講義・演習	photoshopの基礎。基本操作を理解し、習得できる。	illustratorの基本操作を復習しておく
12	7月10日	講義・演習	photoshopによるレタッチ。人物のレタッチ手法を理解し、実践できる。	photoshopの基本操作を復習しておく
13	8月21日	講義・演習	photoshopによるレタッチ。選択とマスクを理解し、実践できる。	photoshopの基本操作を復習しておく
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習		他のアーティストのフライヤーなどのデザインに注目し、常に感性を磨く姿勢をもつこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				
常設設備				

科目名	Design&Programming(1) Disital Design B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	TSMではこれまでWEB制作やマーケティングの他、動画コンテンツの制作などを指導。セルフプロデュース、セルフプロモーションできる力を養う事業内容を展開。						
授業の学習 内容	社内資料作成や報告書など、現場ではオフィス系のソフトが必須となるため、前期では各種オフィスソフトのレベルチェックと、基本操作を学ぶ。特にexcelに関しては、授業で取り上げる3つのオフィスソフトの中で最重要視し、関数やデータ分析を中心に行っていく。						
到達目標	word, excel, power pointを使用し各種資料の作成やプレゼンテーションを行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	ワークシート
2	4月24日	講義・演習	wordスキルレベルチェック。現段階でのスキルをチェックし、後々振り返る。	ワークシート
3	5月8日	講義・演習	word基礎1。画面構成やツールを確認し、基本操作ができるようになる。	ワークシート
4	5月15日	講義・演習	word基礎2。ワードアート、画像挿入などビジュアルデータを中心に。	ワークシート
5	5月22日	講義・演習	word基礎3。レイアウトやヘッダーフッター挿入など資料作成に不可欠な機能を確認する。	ワークシート
6	5月29日	講義・演習	excelレベルチェック。現段階でのスキルをチェックし、後々振り返る。	ワークシート
7	6月5日	講義・演習	excel基礎1。画面構成やツールを確認し、基本操作ができるようになる。	ワークシート
8	6月12日	講義・演習	excel基礎2。グラフ機能を中心に。	ワークシート
9	6月19日	講義・演習	excel基礎3。sum関数など基本的な関数を中心に。	ワークシート
10	6月26日	講義・演習	power pointレベルチェック。現段階でのスキルをチェックし、後々振り返る。	ワークシート
11	7月3日	講義・演習	power point基礎1。画面構成やツールを確認し、基本操作ができるようになる。	ワークシート
12	7月10日	講義・演習	power point基礎2。スライドデザインやアニメーションなどビジュアルを中心に。	ワークシート
13	8月21日	講義・演習	power point基礎3。決められた課題をテーマにプレゼン資料の作成。	ワークシート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習		他のアーティストのフライヤーなどのデザインに注目し、常に感性を磨く姿勢をもつこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				
常設設備				

科目名	Design&Programming(2) Disital Design A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSMではこれまでWEB制作やマーケティングの他、動画コンテンツの制作などを指導。セルフプロデュース、セルフプロモーションできる力を養う事業内容を展開。						
授業の学習 内容	アーティスト/クリエイター/プロデューサーとして活動していくには外部に情報を適切な形で発信していかなくてはならないため、illustrator、photoshopを駆使した名刺をデザインし自身のプロモーションに活用するスキルを身に着ける。また、SNSやWordPressといったネットによるプロモーションツールにも触れ、アナログ、デジタル両側面から発信する知識を身に着ける。						
到達目標	入稿の知識やWordPressによるサイト構築の基礎知識を身につけ、アナログ・デジタルのデザインアイデアを具体的に落とし込めるようになる。また、今後SNSや動画配信など、ネットと積極的に関わる中で気を付けなければいけないことなどを自覚しながら発信できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	入稿データ作成の基礎。 入稿について理解し、実践として名刺制作を行うことができる。	ワークシート
2	10月9日	講義・演習	名刺作成・提出。	ワークシート
3	10月16日	講義・演習	ネットリテラシーについて学ぶ。判例や訴訟に至ったケースなど紹介。 ネットリテラシーについて考察を学生自ら行うことができる。	ワークシート
4	10月23日	講義・演習	名刺の配布とデザインについての講評。 講評を元に、自分の作品を客観的に分析できる。	ワークシート
5	10月30日	講義・演習	主要SNSの概要と公式アカウントの取得。 情報発信に必要なツールを活用できるようになる。	ワークシート
6	11月6日	講義・演習	youtubeチャンネルの作成と、必要な設定を行うことができる。	ワークシート
7	11月13日	講義・演習	WordPressの基礎知識を理解し、説明できる。	ワークシート
8	11月20日	講義・演習	WordPressの導入方法を学ぶ。サーバーへのインストールを行うことができる。	WordPressについて復習しておく
9	11月27日	講義・演習	WordPressの投稿タイプ、固定ページ、アーカイブを理解し、説明できる。	WordPressについて復習しておく
10	12月4日	講義・演習	WordPressのメニュー、プラグインを理解し、説明できる。	WordPressについて復習しておく
11	12月11日	講義・演習	WordPressのテーマを理解し、説明できる。	WordPressについて復習しておく
12	12月18日	講義・演習	WordPressにSNSアカウントを連携し、方法を理解できる。	WordPressについて復習しておく
13	1月15日	講義・演習	1年間の総復習として、小テストの実施	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習		他のアーティストのフライヤーなどのデザインに注目し、常に感性を磨く姿勢をもつこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Design&Programming(2) Disital Design B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	TSMではこれまでWEB制作やマーケティングの他、動画コンテンツの制作などを指導。セルフプロデュース、セルフプロモーションできる力を養う事業内容を展開。						
授業の学習 内容	社内資料作成や報告書など、現場ではオフィス系のソフトが必須となるため、後期では前期で学んだことを応用し、より伝わりやすい資料作成、作業の効率化を学んでいく。特にexcelに関しては、授業で取り上げる3つのオフィスソフトの中で最重要視し、LOOKUP関数やピボットテーブルなどのデータ分析から、関数の組み合わせなど現場でも応用可能な機能を取り入れ学んでいく。						
到達目標	相手に『伝える』資料をより短い時間で作成でき、それを第三者に伝える能力を身につける。そのためにデータビジュアライゼーションなど基本操作以外のことも知識として身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	1年時の復習	ワークシート
2	10月9日	講義・演習	データビジュアライゼーション。より伝わるデザインの考え方。	ワークシート
3	10月16日	講義・演習	作業の効率化。ショートカットキーを活用して作業の効率化を学ぶ。	ワークシート
4	10月23日	講義・演習	オフィスソフト間の連携	ワークシート
5	10月30日	講義・演習	excelによるデータ分析基礎。フィルター、ピボット	ワークシート
6	11月6日	講義・演習	excelによるデータ分析実践。VLOOKUP関数などを使って集計、分析を行う。	先週の内容を復習しておく。
7	11月13日	講義・演習	excel関数の基礎復習・応用。	ワークシート
8	11月20日	講義・演習	excel関数の実践。IF、SUMIF、COUNTIFなど	excel関数について復習しておく。
9	11月27日	講義・演習	excel関数の組み合わせ。条件分岐などを使用した複数関数の組み合わせ。	excel関数について復習しておく。
10	12月4日	講義・演習	excelによる資料作成課題	ワークシート
11	12月11日	講義・演習	プレゼンテーション課題制作。1年間を通して学んだことを応用し、説得力のあるプレゼン資料を作成、発表する。	ワークシート
12	12月18日	講義・演習	プレゼンテーション発表前半	ワークシート
13	1月15日	講義・演習	プレゼンテーション発表後半&総括	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習		他のアーティストのフライヤーなどのデザインに注目し、常に感性を磨く姿勢をもつこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布したワークシートの確認
2	4月29日	講義・演習	Audio Sampleを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
3	5月13日	講義・演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
4	5月20日	講義・演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
5	5月27日	講義・演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
6	6月3日	講義・演習	Ableton Pushを使ったトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
7	6月10日	講義・演習	リズムの取り方	授業内で配布したワークシートの確認
8	6月17日	講義・演習	様々なジャンルを知る	授業内で配布したワークシートの確認
9	6月24日	講義・演習	AudioとMIDIの違い	授業内で配布したワークシートの確認
10	7月1日	講義・演習	Audioのレコーディング方法	授業内で配布したワークシートの確認
11	7月8日	講義・演習	Audio Effect、MIDI Effectを知る	授業内で配布したワークシートの確認
12	7月15日	講義・演習	前期課程の復習	授業内で配布したワークシートの確認
13	8月26日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	Ableton Pushの操作に関する復習	授業内で配布したワークシートの確認
2	10月14日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
3	10月21日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
4	10月28日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
5	11月4日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
6	11月18日	講義・演習	Samplingでのトラックメイク	授業内で配布したワークシートの確認
7	11月25日	講義・演習	各種Effectに関する復習	授業内で配布したワークシートの確認
8	12月2日	講義・演習	楽曲のミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
9	12月9日	講義・演習	楽曲のミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
10	12月16日	講義・演習	楽曲のミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
11	1月13日	講義・演習	楽曲のミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
12	1月20日	講義・演習	後期課程の復習	授業内で配布したワークシートの確認
13	2月3日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	授業内で配布したワークシートの確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-Protocols(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	作曲家、ギタリスト。様々なアーティストやアニメ等への楽曲提供やレコーディングを行う。□						
授業の学習 内容	DAWを使用したオーディオ編集技術は現代ミュージシャンにとって欠かせない技術の一つである。よって、一人一台のPCを使用し、各授業ごとにテーマに沿った課題を作成し、基本的な操作方法や各種機能の使用方法など、確実に身に付けられるよう授業を展開する。						
到達目標	Protocolsの基本的な操作方法を理解し、オーディオの編集作業を行える能力を身につけることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	スタートアップガイダンス 目的と概要説明・macの基礎	講義で作成したものを各自で作成
2	4月29日	講義・演習	DAWとは(各種概要解説)	講義で作成したものを各自で作成
3	5月13日	講義・演習	DAW立ち上げ・セッション作成・ 各種ウィンドウの説明	講義で作成したものを各自で作成
4	5月20日	講義・演習	オーディオインポート・クリップトラックの 作成・ショートカットキーの説明	講義で作成したものを各自で作成
5	5月27日	講義・演習	オーディオの編集 (波形分割・コピー&ペースト・マーカー他)	講義で作成したものを各自で作成
6	6月3日	講義・演習	楽曲の分割・サイズ変更・書き出し	作成したデータの整理・復習
7	6月10日	講義・演習	オーディオの編集 (フェード・トリミング・サイズ変更)	講義で作成したものを各自で作成
8	6月17日	講義・演習	オーディオの編集 (カットアップ)	講義で作成したものを各自で作成
9	6月24日	講義・演習	複数トラックインポート (各種レベル、PAN調整)	講義で作成したものを各自で作成
10	7月1日	講義・演習	オートメーション作成 (ボリューム・PAN・ミュート他)	講義で作成したものを各自で作成
11	7月8日	講義・演習	オートメーション作成 (touch、latch、writeでの作成)	講義で作成したものを各自で作成
12	7月15日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (タブアウトランジェント他)	講義で作成したものを各自で作成
13	8月26日	講義・演習	テンポ検出&クリック作成 (初級楽曲)	講義で作成したものを各自で作成
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			Protocolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				



科目名	AT-Protocols(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	足立優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	作曲家、ギタリスト。様々なアーティストやアニメ等への楽曲提供やレコーディングを行う。□						
授業の学習 内容	前期で身につけたスキルを実践し、自身の音源政策を自身で行える知識を身につけられるよう授業を展開する。						
到達目標	各自、自宅システムの構築を想定する場合に必要な機材を知り、自らの演奏データの編集、書き出し等を行える知識を有することを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	自宅システムの構築方法 (インターフェース・マイク・ケーブル等について)	各自必要なものを考える
2	10月14日	講義・演習	自宅システムの構築方法とレコーディングについて	各自必要なものを考える
3	10月21日	講義・演習	エフェクト解説 (イコライザー)	講義で作成したものを各自で作成
4	10月28日	講義・演習	エフェクト実践 (イコライザーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
5	11月4日	講義・演習	エフェクト解説 (コンプレッサー)	講義で作成したものを各自で作成
6	11月18日	講義・演習	エフェクト実践 (コンプレッサーについての応用)	講義で作成したものを各自で作成
7	11月25日	講義・演習	オーディオの録音	講義で作成したものを各自で作成
8	12月2日	講義・演習	オーディオ編集 (クロスフェード・メドレー作成)	講義で作成したものを各自で作成
9	12月9日	講義・演習	オーディオ編集 (クオンタイズ・ストリップサイレンス)	講義で作成したものを各自で作成
10	12月16日	講義・演習	オーディオ編集 (テンポ変更・トランスポーズ)	講義で作成したものを各自で作成
11	1月13日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (プリロール・ポストロール他)	講義で作成したものを各自で作成
12	1月20日	講義・演習	実践的な機能の解説・実践 (各種環境設定等)	講義で作成したものを各自で作成
13	2月3日	講義・演習	前期の復習・課題作成	作成したデータの整理
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			Protocolsの操作を授業外でも行い、練習する(1日30分程度)ことを準備学習・時間外学習とする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音響電気知識 Advance(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	澤口哲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	オーディオエンジニア・レコーディングエンジニア・スタジオ建設アドバイザーとして活動						
授業の学習 内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器(スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ)を電気回路の図面と実機を用いた動作で解説し、音響用ケーブルや機器の維持管理、レコーディングスタジオ設備の定期的な維持管理などを実践形式で学ぶ。レコーディングスタジオ使用時における使用前・中・後などで必要とされるトラブル回避方法を学ぶ。						
到達目標	一年時に身につけた音と電気との関係についての基礎知識を、実践に近い形で音響機器の維持管理が出来るようになることを目的とする。またレコーディング時に発生したトラブルに瞬時に対応できる知識と行動力を身につけることを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	スタジオを使用するにあたって必要とされる知識	電源入れ・空調などの場所
2	4月28日	講義・演習	温湿度管理・照明設備・電源設備を把握する	設備を理解
3	5月12日	講義・演習	温湿度管理・照明設備・電源設備を把握する	設備を理解
4	5月19日	講義・演習	ケーブル回線等のチェック不具合箇所の修理方法を学ぶ	スタジオ内の回線を把握する
5	5月26日	講義・演習	ケーブル回線等のチェック不具合箇所の修理方法を学ぶ	スタジオ内の回線を把握する
6	6月2日	講義・演習	実技テスト	5週で学んだ内容についての確認
7	6月9日	講義・演習	接触不良への対応を学ぶ	発生しやすい箇所の事前確認
8	6月16日	講義・演習	電源の位相チェック	一年時に学習した電源の位相について
9	6月23日	講義・演習	電源の位相チェック	一年時に学習した電源の位相について
10	6月30日	講義・演習	実技テスト	4週で学んだ内容についての確認
11	7月7日	講義・演習	音響測定方法を学ぶ	i-padアプリ
12	7月14日	講義・演習	音響測定方法を学ぶ	i-padアプリ
13	8月25日	講義・演習	音響調整	レベルメーターの使用法
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して機材使用を学ぶ	イベント制作準備、機材の動作確認
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して機材使用を学ぶ	イベント制作準備、機材の動作確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
音響調整卓・マルチトラックレコーダー・工具・デジタルテスター・オシロスコープ・ミリボルトメーター・モニタースピーカー・i-PAD				

科目名	音響電気知識 Advance(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	澤口哲
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	オーディオエンジニア・レコーディングエンジニア・スタジオ建設アドバイザーとして活動						
授業の学習 内容	音と電気信号との間の変換機器を繋ぐ(ケーブル、コネクタ)、音と電気を変換する機器(スピーカ、マイクロホン、ヘッドアンプ)を電気回路の図面と実機を用いた動作で解説し、音響用ケーブルや機器の維持管理、レコーディングスタジオ設備の定期的な維持管理などを実践形式で学ぶ。レコーディングスタジオ使用時における使用前・中・後などで必要とされるトラブル回避方法を学ぶ。						
到達目標	一年時に身につけた音と電気との関係についての基礎知識を、実践に近い形で音響機器の維持管理が出来るようになることを目的とする。またレコーディング時に発生したトラブルに瞬時に対応できる知識と行動力を身につけることを目的とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	protocolsのI/Oレベルの調整方法を学ぶ	音響調整について
2	10月13日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
3	10月20日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
4	10月27日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
5	11月3日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
6	11月17日	講義・演習	ハードウェア機器の調整方法を学ぶ	音響調整について
7	11月24日	講義・演習	6週で学んだ内容についての確認	測定方法・調整方法
8	12月1日	講義・演習	トラブルシューティングと不具合品と箇所を特定する	メンテナンス依頼用報告書
9	12月8日	講義・演習	トラブルシューティングと不具合品と箇所を特定する	メンテナンス依頼用報告書
10	12月15日	講義・演習	不具合品を提出し、修理方法とパーツの手配を実施	メンテナンス依頼用報告書
11	1月12日	講義・演習	修理	必要工具の準備
12	1月19日	講義・演習	修理	必要工具の準備
13	2月2日	講義・演習	修理と動作確認	必要工具の準備
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して機材使用を学ぶ	イベント制作準備、機材の動作確認
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して機材使用を学ぶ	イベント制作準備、機材の動作確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
音響調整卓・マルチトラックレコーダー・工具・デジタルテスター・オシロスコープ・ミリボルトメーター・モニタースピーカー・i-PAD				

科目名	Marketing(3) Marketing I A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要などころに必要なだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月13日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月20日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月27日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	6月3日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月10日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月17日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月24日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	7月1日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月8日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月15日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(3) Marketing 1 B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要とところに必要なだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月13日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月20日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月27日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	6月3日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月10日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月17日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月24日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	7月1日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月8日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月15日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(4) Marketing I A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要などころに必要なだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしながら、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月21日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月28日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	11月4日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(4) Marketing 1 B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要なところに必要なだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月21日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月28日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	11月4日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布したワークシートの確認
2	4月29日	講義・演習	ミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
3	5月13日	講義・演習	ミキシングについて	授業内で配布したワークシートの確認
4	5月20日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
5	5月27日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
6	6月3日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
7	6月10日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
8	6月17日	講義・演習	ライブパフォーマンスについて	授業内で配布したワークシートの確認
9	6月24日	講義・演習	シンセサイザーについて	授業内で配布したワークシートの確認
10	7月1日	講義・演習	シンセサイザーについて	授業内で配布したワークシートの確認
11	7月8日	講義・演習	シンセサイザーについて	授業内で配布したワークシートの確認
12	7月15日	講義・演習	マスタリングについて	授業内で配布したワークシートの確認
13	8月26日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Digital Compose(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布したワークシートの確認
2	10月14日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布したワークシートの確認
3	10月21日	講義・演習	フィールドレコーディングについて	授業内で配布したワークシートの確認
4	10月28日	講義・演習	フィールドレコーディングについて	授業内で配布したワークシートの確認
5	11月4日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
6	11月18日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
7	11月25日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
8	12月2日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
9	12月9日	講義・演習	楽曲のRemixについて	授業内で配布したワークシートの確認
10	12月16日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布したワークシートの確認
11	1月13日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布したワークシートの確認
12	1月20日	講義・演習	1年間の総復習	授業内で配布したワークシートの確認
13	2月3日	講義・演習	定期試験	授業内で配布したワークシートの確認
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-Contents(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	フリーにて映像ディレクション他(Rin音、クボタカイ他)						
授業の学習 内容	現在インターネットでプロモーション展開する上で、動画の活用は必須となっている。 PV、MV、ライブ映像(記録映像)など音楽に限らずその活用シーンは多岐に及ぶ。 動画コンテンツの発信は最重要テーマの一つであり、常に映像や写真を記録する習慣を身につけ授業の制作に生かしていた きたい。前期は主に機材面を中心に、実際のシーンで多用される編集テクニックを習得していく。						
到達目標	より人の心に響く映像を作るための編集方法や映像理論、機材の基本を学ぶ。 特にカメラ機材の扱い方や設定をしっかり把握し、狙った通りのショットを撮影できるようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握 できる。	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ。動画形式/fps/解像 度について述べることができる。	自分が好きな映画やMVなどを鑑賞しておくこと
3	5月13日	講義・演習	カメラ、機材についての基本を学ぶ。絞り/SS/ISO感度 /WBIについて述べることができる。	ワークシート
4	5月20日	講義・演習	スチル/動画それぞれ最適な機材設定を考察する。設定 を理解し、実践することができる。	ワークシート
5	5月27日	講義・演習	パン、チルトなどの基本的なカメラワークと構図について 学び、それらの説明ができる。	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	キーフレーム、エフェクトコントロールを学び、実践できる。	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	映像理論の基礎(各画角、構図による心理的影響)を理解 できる。	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	映像理論の基礎(イマジナリーライン、モニタージュ論)を 理解できる。	ワークシート
9	6月24日	講義・演習	ストーリーボードの重要性を理解でき、作成方法を習得で きる。	ワークシート
10	7月1日	講義・演習	実際の映画、ドラマのシーンを鑑賞の上、手法を分析する ことができる。	ワークシート
11	7月8日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留 意し、より洗練された映像を撮影することができる。	ワークシート
12	7月15日	講義・演習	分析したシーンをリファレンスとし、機材の設定などに留 意し、より洗練された映像を撮影することができる。	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	機材、理論に関するテストの実施	筆記テストの実施
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影 方法を学ぶ	前期の復習
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して制作者の意図が伝わりやすい撮影 方法を学ぶ	前期の復習
準備学習 時間外学習			普段からスマホでもいいので写真や動画を「画角や構図、設定などを意識しながら」撮影してほしい	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-Web Develop(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	インターネット広告代理店にてモバイルサイト構築、芸能事務所にて特設サイト構築他						
授業の学習 内容	前期で学んだプログラミングの知識を活用し、より実践的な機能を実装していく。自身のアーティストサイトを構築する際に必須となる知識である。トグルメニューやパララックス効果を用いたスクロール機能など、実践的な内容が含まれるので、難しく感じると思うが前期の基礎をしっかりと復習しながら進めてほしい。						
到達目標	自身のサイトに必要な機能、デザインを自ら考え、構築できるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	JavaScriptのfor文を理解できる。	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	forを用いた簡単なプログラミングを自分で考え、制作できる。	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	JavaScriptのfunction(関数)を理解できる。	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	functionを用いた簡単なプログラミングを自分で考え、制作できる。	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	JavaScriptで1からプログラミング機能を設計、実装できる。BMI判定機能を例に3週にわたり制作する。	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	JavaScriptで1からプログラミング機能を設計、実装できる。BMI判定機能を例に3週にわたり制作する。	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたトグルメニューを設計、実装できる。	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたトグルメニューを設計、実装できる。	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたトグルメニューを設計、実装できる。	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたパララックススクロール機能を設計、実装できる。	ワークシート
11	1月13日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたパララックススクロール機能を設計、実装できる。	ワークシート
12	1月20日	講義・演習	実用的な機能として、HTML、CSS、JavaScriptを用いたパララックススクロール機能を設計、実装できる。	ワークシート
13	2月3日	講義・演習	WEB制作に関するテストの実施	授業時間内に指定の課題を制作(ファイル作成)
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して外部に情報発信できるプラットフォーム制作を学ぶ	前期の復習
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して外部に情報発信できるプラットフォーム制作を学ぶ	前期の復習
準備学習 時間外学習			普段から様々なアーティストサイトやWEBサービスに触れてほしい	
【使用教科書・教材・参考書】				
HTML5 & CSS3 デザインレシピ集(狩野 祐東著/技術評論社)JavaScript コードレシピ集(池田 泰延他/技術評論社)				

科目名	AT-REC(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿部博
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	sony Music studio Tokyo 2年、studioFine6年の経験を経て現在フリーランス6年目 多くの作品に関わるエンジニア						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける、以下技術の習得。1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけブクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	スタジオ機材の基礎 色々な音源を聴く	前年度までの復習、
2	5月9日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
3	5月16日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
4	5月23日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	前回までの理解力の確認
5	5月30日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	前回までの理解力の確認
6	6月6日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
7	6月13日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
8	6月20日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
9	6月27日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
10	7月4日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
11	7月11日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
12	7月18日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
13	8月22日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	AT-REC(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿部博
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	sony Music studio Tokyo 2年、studioFine6年の経験を経て現在フリーランス6年目 多くの作品に関わるエンジニア						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける、以下技術の習得。1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
2	10月10日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
3	10月17日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
4	10月24日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
5	10月31日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
6	11月7日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
7	11月14日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
8	11月21日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
9	11月28日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
10	12月5日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
11	12月12日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
12	12月19日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
13	1月9日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	My Avatar Project(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	榎原 敬太
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	エンターテインメント事業に付随する「企画・演出事業」「ライブ制作事業」「フェス事業」「マネジメント事業」「IP創作事業」「映像制作事業」「ダンス事業」「インフルエンサー事業」「YouTubeを始めとするインターネット関連事業」等々を行う。						
授業の学習 内容	全体的に「面白いこと」を創ることをベースメントにして 「伸びること(偶発性)」「伸ばすこと(必然性)」 を狙って運べる脳を育成することに重きをおく。  【前期】仕組みの構築と説明。「運用」観点でのそれぞれのタスク把握と制作。(3)						
到達目標	「こうやって創るとバズる/バズらなかった」 世の中の流れとヒットの作り方を自分たちのある一定ロジックを構築すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	インターネット・バズメイク概論(中級)	ワークシート
2	5月9日	講義・演習	Vtube運用・概要(中級) スタイル構築会議	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
3	5月16日	講義・演習	Vtube運用・概要(中級) スタイル構築会議	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
4	5月23日	講義・演習	東本響の運用に関して(中級) ☆ワーク・ルール決め☆SNS開設☆目標設定 ☆撮影に向けての課題☆動画編集	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 あるべきルールを考える
5	5月30日	講義・演習	東本響の運用に関して(中級) ☆ワーク・ルール決め☆SNS開設☆目標設定 ☆撮影に向けての課題☆動画編集	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 あるべきルールを考える
6	6月6日	講義・演習	配信についての説明(中級) with エンジニア	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 あるべきルールを考える
7	6月13日	講義・演習	授業集約(発表) すべての授業の内容をベースに ここで運用クリエイティブをしっかりと考える	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
8	6月20日	講義・演習	授業集約(検討) すべての授業の内容をベースに ここで運用クリエイティブをしっかりと考える	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
9	6月27日	講義・演習	授業集約(確定) すべての授業の内容をベースに ここで運用クリエイティブをしっかりと考える	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
10	7月4日	講義・演習	動画企画検討会(中級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 企画を考えてきて発表、1人5本
11	7月11日	講義・演習	動画企画検討会(中級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 企画を考えてきて発表、1人5本
12	7月18日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
13	8月22日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してVtuberのステージングを学ぶ	イベント制作準備
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してVtuberのステージングを学ぶ	イベント制作準備
準備学習 時間外学習			動画をみること。生放送をみること。今の流行りをみること。	
【使用教科書・教材・参考書】				
現役Vtuber/YouTuber/Instagramer/Twittererの動画 並びにそれをベースにしたスライド資料				

科目名	My Avatar Project(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	榎原 敬太
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	エンターテインメント事業に付随する「企画・演出事業」「ライブ制作事業」「フェス事業」「マネジメント事業」「IP創作事業」「映像制作事業」「ダンス事業」「インフルエンサー事業」「YouTubeを始めとするインターネット関連事業」等々を行う。						
授業の学習 内容	全体的に「面白いこと」を創ることをベースメントにして「伸びること(偶発性)」「伸ばすこと(必然性)」を狙って運べる脳を育成することに重きをおく。 【後期】実際の運用とデバッグ。 より必要なこととして、監修力と検証力を獲得する。(4)						
到達目標	「こうやって創るとバズる/バズらなかった」 世の中の流れとヒットの作り方を自分たちのある一定ロジックを構築すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(中級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
2	10月10日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
3	10月17日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(中級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
4	10月24日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
5	10月31日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(中級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
6	11月7日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
7	11月14日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(中級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
8	11月21日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
9	11月28日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(中級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
10	12月5日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
11	12月12日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(中級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
12	12月19日	講義・演習	全編全動画検証と検討	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた動画をランキング付けて、ダレの企画が伸びたか?伸びなかった動画のいいところを検証する。
13	1月9日	講義・演習	年間総決算会議:テコ入れ会議	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 1年やってみて、獲得できた内容をそれぞれが10分で発表する。
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してVtuberのステージングを学ぶ	イベント制作準備
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してVtuberのステージングを学ぶ	イベント制作準備
準備学習 時間外学習		動画をみること。生放送をみること。今の流行りをみること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
現役Vtuber/YouTuber/Instagramer/Twittererの動画 並びにそれをベースにしたスライド資料				

科目名	音楽制作概論(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動						
授業の学習 内容	卒業制作CDの企画、制作を通じコンセプトワークの重要性を学び、明確な目的、目標を持った制作作業につなげる。						
到達目標	過去2年間で習得した、制作作業の正確さ、緻密さ、制作スピードに加えコンセプトワークを基礎とし、音楽制作者として「ブレのない」作品作りを可能とする総合的な音楽制作能力を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	年度末までの目標設定/グループ分け	ワークシート
2	4月24日	講義・演習	制作コンセプト、サウンドコンセプトのチェック	ワークシート
3	5月8日	講義・演習	企画書作成の基礎知識	ワークシート
4	5月15日	講義・演習	グループ毎に企画書のチェック	ワークシート
5	5月22日	講義・演習	制作報告M-ティング(メロディー編)	ワークシート
6	5月29日	講義・演習	制作報告M-ティング(アレンジ編)	ワークシート
7	6月5日	講義・演習	制作報告M-ティング(Edit編)	ワークシート
8	6月12日	講義・演習	制作報告M-ティング(スコア編)	ワークシート
9	6月19日	講義・演習	制作報告M-ティング(歌詞編)	ワークシート
10	6月26日	講義・演習	制作報告M-ティング(構成編)	ワークシート
11	7月3日	講義・演習	制作報告M-ティング(Mix編)	ワークシート
12	7月10日	講義・演習	制作報告M-ティング(マスタリング編)	ワークシート
13	8月21日	講義・演習	前期総括と後期目標提示	ワークシート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	音楽制作概論(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	勝田修平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	原盤制作ディレクター、アレンジャー、マニピュレーターとして活動						
授業の学習 内容	前期同様「卒業制作CDの企画、制作を通じコンセプトワークの重要性を学び、明確な目的、目標を持った制作作業につなげる。」に加えコンセプトワークに基づいたビジュアル制作を含め習得する。						
到達目標	前半は楽曲制作、スタジオワークが中心となるが、年末よりCDパッケージ制作に以降する。 音楽制作者としてビジュアル面も含め、「ブレのない」作品作りを可能とする総合的な音楽制作能力を習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の目標提示と各締切の確認	ワークシート
2	10月9日	講義・演習	制作報告M-ティング(曲タイトル編)	ワークシート
3	10月16日	講義・演習	制作報告M-ティング(アルバムタイトル編)	ワークシート
4	10月23日	講義・演習	制作報告M-ティング(曲毎のクレジット編)	ワークシート
5	10月30日	講義・演習	制作報告M-ティング(トータルクレジット編)	ワークシート
6	11月6日	講義・演習	制作報告M-ティング(ビジュアル編)	ワークシート
7	11月13日	講義・演習	グループ毎にマスターデータの確認	ワークシート
8	11月20日	講義・演習	グループ毎にブックレットデータの確認	ワークシート
9	11月27日	講義・演習	グループ毎にバックカバーデータの確認	ワークシート
10	12月4日	講義・演習	グループ毎にデザインデータの確認	ワークシート
11	12月11日	講義・演習	グループ毎にデザインデータの入稿	ワークシート
12	12月18日	講義・演習	グループ毎にレーベルデータの確認	ワークシート
13	1月15日	講義・演習	グループ毎にパッケージ作業	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して音楽制作を学ぶ	ワークシート
15	2月5日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通して音楽制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	My Avatar Project(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	榎原 敬太
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	エンターテインメント事業に付随する「企画・演出事業」「ライブ制作事業」「フェス事業」「マネジメント事業」「IP創作事業」「映像制作事業」「ダンス事業」「インフルエンサー事業」「YouTubeを始めとするインターネット関連事業」等々を行う						
授業の学習 内容	全体的に「面白いこと」を創ることをベースメントにして 「伸びること(偶発性)」「伸ばすこと(必然性)」 を狙って運べる脳を育成することに重きをおく。  【前期】仕組みの構築と説明。「運用」観点でのそれぞれのタスク把握と制作。(5)						
到達目標	「こうやって創るとバズる/バズらなかった」 世の中の流れとヒットの作り方を自分たちのある一定ロジックを構築すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	インターネット・バズメイク概論(上級)	ワークシート
2	5月9日	講義・演習	Vtube運用・概要(上級) スタイル構築会議	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。
3	5月16日	講義・演習	Vtube運用・概要(上級) スタイル構築会議	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。
4	5月23日	講義・演習	東木響の運用に関して(上級) ☆ワーク・ルール決め☆SNS開設☆目標設定 ☆撮影に向けての課題☆動画編集	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。 あるべきルールを考える
5	5月30日	講義・演習	東木響の運用に関して(上級) ☆ワーク・ルール決め☆SNS開設☆目標設定 ☆撮影に向けての課題☆動画編集	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。 あるべきルールを考える
6	6月6日	講義・演習	配信についての説明(上級) with エンジニア	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。 あるべきルールを考える
7	6月13日	講義・演習	授業集約(発表) すべての授業の内容をベースに ここで運用クリエイティブをしっかりと考える	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。
8	6月20日	講義・演習	授業集約(検討) すべての授業の内容をベースに ここで運用クリエイティブをしっかりと考える	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。
9	6月27日	講義・演習	授業集約(確定) すべての授業の内容をベースに ここで運用クリエイティブをしっかりと考える	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。
10	7月4日	講義・演習	動画企画検討会(上級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。 企画を考えてきて発表、1人5本
11	7月11日	講義・演習	動画企画検討会(上級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。 企画を考えてきて発表、1人5本
12	7月18日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。
13	8月22日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメド3選する。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してVtuberのステージングを学ぶ	イベント制作準備
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してVtuberのステージングを学ぶ	イベント制作準備
準備学習 時間外学習			動画をみること。生放送をみること。今の流行りをみること。	
【使用教科書・教材・参考書】				
現役Vtuber/YouTuber/Instagramer/Twittererの動画 並びにそれをベースにしたスライド資料				

科目名	My Avatar Project(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	榊原 敬太
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	エンターテインメント事業に付随する「企画・演出事業」「ライブ制作事業」「フェス事業」「マネジメント事業」「IP創作事業」「映像制作事業」「ダンス事業」「インフルエンサー事業」「YouTubeを始めとするインターネット関連事業」等々を行う						
授業の学習 内容	全体的に「面白いこと」を創ることをベースメントにして 「伸びること(偶発性)」「伸ばすこと(必然性)」 を狙って運べる脳を育成することに重きをおく。 【後期】実際の運用とデバッグ。 より必要なこととして、監修力と検証力を獲得する。(6)						
到達目標	「こうやって創るとバズる/バズらなかった」 世の中の流れとヒットの作り方を自分たちのある一定ロジックを構築すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(上級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
2	10月10日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
3	10月17日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(上級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
4	10月24日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
5	10月31日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(上級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
6	11月7日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
7	11月14日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(上級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
8	11月21日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
9	11月28日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(上級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
10	12月5日	講義・演習	撮影してみよう! → アップする	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。
11	12月12日	講義・演習	本気で撮影動画の検証をしよう!(上級)	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた理由、伸びなかった理由をそれぞれの意見を集約し、検討する。
12	12月19日	講義・演習	全編全動画検証と検討	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 伸びた動画をランキング付けて、ダレの企画が伸びたか? 伸びなかった動画のいいところを検証する。
13	1月9日	講義・演習	年間総決算会議:テコ入れ会議	YouTube動画を週10本以上みて、レコメンド3選する。 1年やってみて、獲得できた内容をそれぞれが10分で発表する。
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通してVtuberのステージングを学ぶ	イベント制作準備
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してVtuberのステージングを学ぶ	イベント制作準備
準備学習 時間外学習		動画をみること。生放送をみること。今の流行りをみること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
現役Vtuber/YouTuber/Instagramer/Twittererの動画 並びにそれをベースにしたスライド資料				

科目名	Digital Compose(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	オリエンテーション	授業内で配布した資料の確認
2	4月27日	講義・演習	映画のサウンドトラック制作	授業内で配布した資料の確認
3	5月11日	講義・演習	映画のサウンドトラック制作	授業内で配布した資料の確認
4	5月18日	講義・演習	動画に音楽を付けてみよう	授業内で配布した資料の確認
5	5月25日	講義・演習	動画に音楽を付けてみよう	授業内で配布した資料の確認
6	6月1日	講義・演習	Mashupの作り方	授業内で配布した資料の確認
7	6月8日	講義・演習	Mashupの作り方	授業内で配布した資料の確認
8	6月15日	講義・演習	Mashupの作り方	授業内で配布した資料の確認
9	6月22日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布した資料の確認
10	6月29日	講義・演習	楽曲のアレンジについて	授業内で配布した資料の確認
11	7月6日	講義・演習	楽曲制作のテクニック応用編	授業内で配布した資料の確認
12	7月13日	講義・演習	楽曲制作のテクニック応用編	授業内で配布した資料の確認
13	8月24日	講義・演習	定期試験	授業内で配布した資料の確認
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	楽曲制作
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Compose(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	森谷諭
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布した資料の確認
2	10月12日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布した資料の確認
3	10月19日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布した資料の確認
4	10月26日	講義・演習	オーディションに挑戦してみよう	授業内で配布した資料の確認
5	11月2日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
6	11月16日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
7	11月23日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
8	11月30日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
9	12月7日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
10	12月14日	講義・演習	テーマに沿った楽曲制作	授業内で配布した資料の確認
11	12月21日	講義・演習	3年間の総復習	授業内で配布した資料の確認
12	1月11日	講義・演習	3年間の総復習	授業内で配布した資料の確認
13	1月18日	講義・演習	定期試験	授業内で配布した資料の確認
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	楽曲制作
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して作曲を学ぶ	楽曲制作
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	AT-REC(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿部博
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	sony Music studio Tokyo 2年、studioFine6年の経験を経て現在フリーランス6年目 多くの作品に関わるエンジニア						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける、以下技術の習得。1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけブクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	スタジオ機材の基礎 色々な音源を聴く	前年度までの復習、
2	5月9日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
3	5月16日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	マイク、アウトボードの名称、およびパッチベイの確認
4	5月23日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	前回までの理解力の確認
5	5月30日	講義・演習	アナログコンソールやマイクの特性アウトボードの基礎	前回までの理解力の確認
6	6月6日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
7	6月13日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
8	6月20日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
9	6月27日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
10	7月4日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
11	7月11日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
12	7月18日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
13	8月22日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	各自問題点の整理、確認が必要なことの書き出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	AT-REC(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿部博
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	sony Music studio Tokyo 2年、studioFine6年の経験を経て現在フリーランス6年目 多くの作品に関わるエンジニア						
授業の学習 内容	スタジオ/ホームレコーディングにおける、以下技術の習得。1)録音技術の習得 2)ミキシング技術の習得 3)マスタリング技術の習得 4)データ管理・整理技術の習得 5)レコーディングにおけるの進行の流れ						
到達目標	レコーディング、ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、音楽業界を活性化できる人材の育成。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
2	10月10日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
3	10月17日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
4	10月24日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
5	10月31日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
6	11月7日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
7	11月14日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
8	11月21日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
9	11月28日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
10	12月5日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
11	12月12日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
12	12月19日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
13	1月9日	講義・演習	ゲストミュージシャン参加の実践的な REC/MIX	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲制作を学ぶ	ゲストの録音内容の確認、録音を行う上でのセッティングのイメージを持つ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
レコーディングスタジオ内 常設機材				

科目名	AT-Programming Basic(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	インターネット広告代理店にて広告効果分析/モバイルサイト構築/フリーにてYouTubeチャンネル構築や広告配信代行など (YouTube認定資格所有)						
授業の学習 内容	ネットプロモーションにおいて、SNS含む自身のプラットフォームと動画コンテンツは最重要の課題である。国内外のSNS事情を見ながら、どのようにSNSやWEBを活用していくか、実際のデータから分析とPDCAサイクルを意識しながら活用していく。また、卒業後も活用できるオウンドメディア(本授業では主にポートフォリオサイトを意味する)も企画・作成する。動画配信プラットフォームの活用についても積極的に行う。卒業後の情報発信プラットフォームとなるので、抜かりなく取り組んでほしい。						
到達目標	各種SNSの特徴と有効的な利用方法を理解する。オウンドメディア、SNSの構築を自ら企画制作し、セルフブランディングと発信を積極的に行う力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション。1年を通して何を習得できるかを把握できる。	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	WEBマーケティングに必要な基礎知識の解説。UU、PV、アクセス数など基本を把握でき、説明できる。	ワークシート
3	5月13日	講義・演習	WEBマーケティングに必要な基礎知識の解説。SWOT分析やLTV、KPIなどを理解し、WEB分析などに活用できる。	ワークシート
4	5月20日	講義・演習	国内外の主要SNSを取り上げ、SNSマーケティングの基礎を学び、説明できる。	ワークシート
5	5月27日	講義・演習	インターネット広告の基礎。クライアント、メディア両側面から利用方法を考察できる。	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	インターネット広告の応用。YouTube(Google)広告の管理画面を使用し、使用方法などを理解できる。	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	PHPの基礎を理解できる。	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	WordPressの構築環境を理解し、WordPressを動かすことができる。	WordPressの基本操作を復習しておく
9	6月24日	講義・演習	WordPressに必要なプログラミング知識を理解できる。※文法などはJavaScriptと酷似しているため、授業内で2年時の振り返りを行う。	WordPressの基本操作を復習しておく
10	7月1日	講義・演習	WordPressによる自身のアーティストサイト/ポートフォリオサイトの企画・構築を行う。	WordPressの基本操作を復習しておく
11	7月8日	講義・演習	WordPressによる自身のアーティストサイト/ポートフォリオサイトの企画・構築を行う。	WordPressの基本操作を復習しておく
12	7月15日	講義・演習	WordPressによる自身のアーティストサイト/ポートフォリオサイトの企画・構築を行う。	WordPressの基本操作を復習しておく
13	8月26日	講義・演習	WEBマーケティングやWordPressに関するテストを実施する。	筆記テストの実施
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングとしての視点も併せ持ったクリエイティブ制作を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してマーケティングとしての視点も併せ持ったクリエイティブ制作を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習		どうやったら自分のコンテンツをより広めることができるのかを考え、広告の仕組みや人間心理なども積極的に学んでほしい		
【使用教科書・教材・参考書】				
1他人のインターネット広告 ヒットを生み出す最強メソッド(清野 奨他/MdN) 1他人のSNSマーケティング バズを生み出す最強メソッド(数田 憲司他/MdN) WordPressデザインレシピ集(狩野 祐東/技術評論社)				



科目名	AT-Programming Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	大場学
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	インターネット広告代理店にて広告効果分析/モバイルサイト構築/フリーにてYouTubeチャンネル構築や広告配信代行など (YouTube認定資格所有)						
授業の学習 内容	プラットフォームやSNS、動画コンテンツは作成して公開がゴールではなく、継続的に分析を行い改善していく必要がある。特に動画コンテンツは現在のヒットの法則からも必須のものとなっており、自身のコンテンツに対してPDCAの意識を持っておく必要がある。WordPressサイトだけ、SNSだけ、動画だけということにならず、様々な技術にアンテナを張って貪欲にそれらの利活用を探究してほしい。						
到達目標	3年間の集大成として動画コンテンツ、SNS、それらを集約するオウンドメディアを紐づけ、卒業後のプロモーションに活用する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	YouTubeについて。ブランドチャンネルを作成し、基本的なカスタマイズができる。	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	YouTubeについて。マーケティングの観点から、バズが生まれやすい傾向などを把握できる。	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	YouTubeについて。YouTubeアナリティクスの使用方法及び分析方法を学び、動画のPDCAを回すことができる。	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	視聴者にリーチ、エンゲージメントしやすいコンテンツの考え方を事例を通して理解できる。	ワークシート
5	11月4日	講義・演習	視聴者にリーチ、エンゲージメントしやすいコンテンツの考え方を事例を通して理解できる。	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	YouTubeのようなAVODのほか、Netflixなどに代表される(SVODなど、動画配信プラットフォームやビジネスモデルの現状を理解できる。	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	音楽、動画に関連した最新技術を理解、活用方法を考えることができる。 AI/5G/XR/ドローン/ブロックチェーン	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	WordPressの応用操作を復習しておく
9	12月9日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	WordPressの応用操作を復習しておく
10	12月16日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	WordPressの応用操作を復習しておく
11	1月13日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	WordPressの応用操作を復習しておく
12	1月20日	講義・演習	WordPressによるサイト構築、映像コンテンツの制作を行う。	WordPressの応用操作を復習しておく
13	2月3日	講義・演習	最終課題として構築したサイト、映像コンテンツのプレゼンテーションを行う。その際ターゲット層やアクセス数やビューの目標などを併せてプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーション事前準備
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通してマーケットとしての視点も併せ持ったクリエイティブ制作を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してマーケットとしての視点も併せ持ったクリエイティブ制作を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			どうやったら自分のコンテンツをより広めることができるのかを考え、広告の仕組みや人間心理なども積極的に学んでほしい	
【使用教科書・教材・参考書】				
YouTubeの時代 動画は世界をどう変えるか(ケヴィンアロッカ/NTT出版) NETFLIX~コンテンツ帝国の野望~(ジーナキーティング/新潮社)				

科目名	Marketing(5) Marketing I A(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要とところに必要なだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から「実際にやってみる」ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月13日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月20日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月27日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	6月3日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月10日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月17日	講義・演習	リスキリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月24日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	7月1日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月8日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月15日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(5) Marketing 1 B(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をあおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要など所に必要なだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
2	4月29日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	5月13日	講義・演習	マーケティングの基本を理解し、なぜ重要なのかを知る	授業後のレポート課題
4	5月20日	講義・演習	プレゼンを学び、自分のプロフィール作成に着手し、自己表現できるようになる	授業後のレポート課題
5	5月27日	講義・演習	エンタメビジネスの全体像を理解できる	授業後のレポート課題
6	6月3日	講義・演習	ビジョンボード、やりたいことリスト100を作成し、目標を明確化できるようになる	授業後のレポート課題
7	6月10日	講義・演習	独自のウリ(USP)を学び、自分や商品のストロングポイントを理解できるようになる	授業後のレポート課題
8	6月17日	講義・演習	リスクリバーサルを学び、相手の立場にたった提案ができる	授業後のレポート課題
9	6月24日	講義・演習	ジョイントベンチャーを学び、業務提携という仕組みを理解する	授業後のレポート課題
10	7月1日	講義・演習	テレマーケティングを学び、どの業界でも通用するスキルを身につける	授業後のレポート課題
11	7月8日	講義・演習	SNSを使ったマーケティングを学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
12	7月15日	講義・演習	テストマーケティングを学び、実践するための判断やシミュレーションができるようになる	授業後のレポート課題
13	8月26日	講義・演習	顧客の種類について学び、世の中のニーズを把握することができる	授業後のレポート課題
14	9月2日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(6) Marketing I A(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をおおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要とされる必要とだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切になら、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月21日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月28日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	11月4日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Marketing(6) Marketing I B(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	黒須亮成
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)						
教員の略歴	世界No.1マーケッターのジェイ・エイブラハム氏の講座を学びながら、タレント、ミュージシャン、アーティスト、音楽作家、ヘアメイク、衣装デザイナーなどのマネージメントを手がける。その他、音楽制作ディレクター、イベント運営などを手がけています。						
授業の学習 内容	<p>①目まぐるしく変化し続けている社会のスピードに付いていくには、ひとつひとつ、すべての分野を極めていく時間はありません。ひとりで1つの分野を極めるのではなく、その分野に特化した能力を持つ人に協力をおおぎ、そのチームをマネジメントし、チームで新しい価値を創造し、それをマーケティングによって必要とされる必要とだけ届けていく必要があります。</p> <p>②マーケティングはすべての科目に大きく関係します。その科目のスキルをビジネスに展開し、継続的にお客様のニーズを満たすことができます。</p> <p>③マネジメントやマーケティングを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、自分がイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にあるマーケティングを見つけ、みんなで考えをシェアし、どういう仕組みになっているか紐解いていきます。またマネジメントに必要なコミュニケーションの勉強・体験もしていきます。学ぶというのも大切にしてながら、卒業後に即戦力となるように在学中から“実際にやってみる”ということに慣れるため、実践の場もあります。</p>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シミュレーション体験によって、今まで知らない職種や視点を理解し、業界の全体像がわかるようになる。</li> <li>■コミュニケーションの大切さを理解できる。</li> <li>■身近にあるマーケティングの仕組みが理解できるようになる。</li> <li>■エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスマナーも含めたビジネスの全体像が理解できるようになる。</li> <li>■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。</li> <li>■ゼロから1を作る仕組みを理解できるようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&RHを学ぶ	レポートの提出
2	10月14日	講義・演習	イベント実践(We are TSM!)を通してA&Rを学ぶ	レポートの提出
3	10月21日	講義・演習	前期テストの復習と解説	授業後のレポート課題
4	10月28日	講義・演習	メディアについて学び、より大きいマーケティングを理解する	授業後のレポート課題
5	11月4日	講義・演習	youtubeを使ったマーケティングを学び、流行りを理解する	授業後のレポート課題
6	11月18日	講義・演習	コピーライティングを学び、顧客目線を理解する	授業後のレポート課題
7	11月25日	講義・演習	キャンペーンについて学び、顧客心理を理解する	授業後のレポート課題
8	12月2日	講義・演習	紹介マーケティングを学び、実践できるようになる	授業後のレポート課題
9	12月9日	講義・演習	ジョイントベンチャーを使った仕組み作りを紙上で行い、実践に向けてトレーニングする	授業後のレポート課題
10	12月16日	講義・演習	音楽イベントのマーケティングについて学び、仕組みを理解できるようになる	授業後のレポート課題
11	1月13日	講義・演習	音楽アーティストのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
12	1月20日	講義・演習	俳優・タレントのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
13	2月3日	講義・演習	アイドルのマーケティングについて学び、仕組みを理解する	授業後のレポート課題
14	2月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) Gt Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBB(NHK「探検バクモン」OP/EDテーマ)などの他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	MC1,MC2で扱ったスケール／アルペジオ／コードワーク／テクニックをベースに、より自由に、よりハーモニックに演奏するためのアドバンス・アプローチを学んでいきます。						
到達目標	テンションコード、スラッシュコード、展開形の各コードに対して、複数のアプローチを演奏できるようになる。 代理コードを使って、オリジナルのアレンジを行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	アッパー・ストラクチャー(1)	iii/I,V/I,vii/I
2	5月10日	講義・演習	アッパー・ストラクチャー(2)	ii/I,IV/I,VI/I
3	5月17日	講義・演習	ダイアトニックコードのグループ化	Maj7,m7,dom7,m7b5
4	5月24日	講義・演習	ダイアトニックコードのペントニック化	メジャーペンタとマイナーペンタで切り分ける
5	5月31日	講義・演習	特定のコード進行で適切なスケールを導き出す	キー、スプリット、ペントニック
6	6月7日	講義・演習	6/major7のテンションとアプローチ	9,#11,13
7	6月14日	講義・演習	minor7のテンションとアプローチ	9,b9,11,b13,13
8	6月21日	講義・演習	dom7/susのテンションとアプローチ	b9,#9,b5,#5,b13
9	6月28日	講義・演習	minor7b5のテンションとアプローチ	9,11,b13
10	7月5日	講義・演習	インバージョンを理解する(R,3,5,7)	1-4弦、2-5弦、3-6弦
11	7月12日	講義・演習	2種類のディミニッシュスケール	ディミニッシュ、コンビネーションオブディミニッシュ
12	7月19日	講義・演習	代理コードアイデア(1)	曲のアナライズを行う
13	8月23日	講義・演習	代理コードアイデア(2)	コードアレンジを行ってみる
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) Ba Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	加納 誠人
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	蒼井翔太「Eclipse」MV出演・田村芽実ワンマンライブ「めいめい白書」サポート出演・halca「LisAni! NAVI」テーマソング「サカナイトデイズ」レコーディング参加						
授業の学習 内容	目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
2	5月10日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
3	5月17日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
4	5月24日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
5	5月31日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
6	6月7日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
7	6月14日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
8	6月21日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
9	6月28日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
10	7月5日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
11	7月12日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
12	7月19日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
13	8月23日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にベースを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(5) key SPL(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	土屋剛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2004年から東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校キーボード講師						
授業の学習 内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
2	4月24日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
3	5月8日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
4	5月15日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
5	5月22日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
6	5月29日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
7	6月5日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
8	6月12日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
9	6月19日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
10	6月26日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
11	7月3日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
12	7月10日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
13	8月21日	講義・演習	前期まとめ・試験。	前期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習		普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく。		



科目名	楽器応用(5) Vocal Adv(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 吉田華奈 潤豊 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICICSのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニングおよび歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、および歌唱における基礎の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	自己紹介、目標の確認、発声メソッドの説明、指導	自由曲を準備
2	5月10日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、イーストレッチレクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	5月17日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱指導、	発声練習及び課題曲練習
4	5月24日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	5月31日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月7日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月14日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月21日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	6月28日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月5日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月12日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	7月19日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月23日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				

科目名	楽器応用(6) Gt Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBB(NHK「探検バクモン」OP/EDテーマ)などの他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	MC1,MC2で扱ったスケール／アルペジオ／コードワーク／テクニックをベースに、より自由に、よりハーモニックに演奏するためのアドバンス・アプローチを学んでいきます。						
到達目標	テンションコード、スラッシュコード、展開形の各コードに対して、複数のアプローチを演奏できるようになる。 代理コードを使って、オリジナルのアレンジを行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	メロディックマイナーのモード(1)	V7b5,#5,b9,#9
2	10月11日	講義・演習	メロディックマイナーのモード(2)	I7#4
3	10月18日	講義・演習	代理コードアプローチとアレンジ	類似コードをグループ化する
4	10月25日	講義・演習	maj7インバージョン	3.5.7からの展開形
5	11月1日	講義・演習	m7インバージョン	3.5.7からの展開形
6	11月8日	講義・演習	dom7/susインバージョン	3.5.7からの展開形
7	11月15日	講義・演習	m7b5インバージョン	3.5.7からの展開形
8	11月22日	講義・演習	ボイス・リーディング(1)	I-ii-iii-IV-V-iv-vii上行下行
9	11月29日	講義・演習	ボイス・リーディング(2) その他の進行の可能性	ii-bII7-I,ii-bII7-i
10	12月6日	講義・演習	クロマチック・アプローチ	メジャー／マイナー各スケールで試す
11	12月13日	講義・演習	dimアプローチADV	I-biidim-ii-biiidim
12	12月20日	講義・演習	ポリコードとアプローチ・バリエーション	トライアド／トライアドでコードを作る
13	1月10日	講義・演習	「良いミュージシャンとは？」 テクニックとトレーニング、知識をレベルアップする	総復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(6) Ba Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	加納誠人
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	蒼井翔太「Eclipse」MV出演・田村芽実ワンマンライブ「めいめい白書」サポート出演・halca「LisAni! NAVI」テーマソング「サカナイトデイズ」レコーディング参加						
授業の学習 内容	目標とされる演奏基準に到達するためのトレーニング方、考え方、自己修正などを教授する。						
到達目標	ベースという楽器を通して音楽表現に関する体感を積み重ねることにより、スタンダードなリズムとフィールを習得する事を目的とする。 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に、タイム感と音感の重要性を理解し、グルーヴに対する気付きが生まれる事が目標となる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
2	10月11日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
3	10月18日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
4	10月25日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
5	11月1日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
6	11月8日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
7	11月15日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
8	11月22日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
9	11月29日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
10	12月6日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
11	12月13日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
12	12月20日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
13	1月10日	講義・演習	質疑応答・課題提示	未達成箇所の復習
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にベースを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器応用(6) key SPL(6)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	土屋剛
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2004年から東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校キーボード講師						
授業の学習 内容	他授業の全体的なフォローおよび学生個人が希望する項目について、授業外の内容も含めて指導する。						
到達目標	プロ演奏者としての適性発見の一助となり、プロに必要な技能を掘り下げて習得する事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
2	10月9日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
3	10月16日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
4	10月23日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
5	10月30日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
6	11月6日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
7	11月13日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
8	11月20日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
9	11月27日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
10	12月4日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
11	12月11日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
12	12月18日	講義・演習	用意した課題または学生が希望する課題の練習。	他授業での課題や、個人的課題等を準備。
13	1月15日	講義・演習	後期まとめ・試験。	後期課題曲から試験で使う曲を選んで練習。
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して、現場での運用感覚を学ぶ。	イベントでの自分の役割を確認しておく。
準備学習 時間外学習			普段の授業や授業外での自分なりの課題・疑問点を整理しておく。	

科目名	楽器応用(6) Vocal Adv(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 吉田華奈 潤豊 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICが主催するJASRA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニングおよび歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、および歌唱における基礎、パフォーマンス力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
2	10月11日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月18日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	10月25日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月1日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月8日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月15日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月22日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	11月29日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月6日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	12月13日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	12月20日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	1月10日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	廣瀬昌明(Gt)Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。/石戸谷齊(tb)学生時代からCMやTVなどのレコーディングを始め、オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入、2度の海外ツアーも経験。/長谷川潤(vo) THE SOULMATICのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーやレコーディングに参加。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	課題曲1-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	4月27日	講義・演習	課題曲1-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	5月11日	講義・演習	課題曲2-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	5月18日	講義・演習	課題曲2-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	5月25日	講義・演習	課題曲3-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	6月1日	講義・演習	課題曲3-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	6月8日	講義・演習	課題曲4-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	6月15日	講義・演習	課題曲4-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	6月22日	講義・演習	課題曲5-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	6月29日	講義・演習	課題曲5-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	7月6日	講義・演習	課題曲6-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	7月13日	講義・演習	課題曲6-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	8月24日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	前期テスト希望曲の準備
14	8月31日	講義・演習	イベントを実践通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月7日	講義・演習	イベントを実践通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 廣瀬昌明 遠藤敬三 仲澤友裕 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	廣瀬昌明(Gt)Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。/石戸谷齊(tb)学生時代からCMやTVなどのレコーディングを始め、オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入、2度の海外ツアーも経験。/長谷川剛(vo) THE SOULMATICのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーやレコーディングに参加。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	課題曲7-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	10月12日	講義・演習	課題曲7-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	10月19日	講義・演習	課題曲8-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	10月26日	講義・演習	課題曲8-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	11月2日	講義・演習	課題曲9-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	11月16日	講義・演習	課題曲9-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	11月23日	講義・演習	課題曲10-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	11月30日	講義・演習	課題曲10-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	12月7日	講義・演習	課題曲11-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	12月14日	講義・演習	課題曲11-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	12月21日	講義・演習	課題曲12-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	1月11日	講義・演習	課題曲12-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	1月18日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	後期テスト希望曲の準備
14	2月1日	講義・演習	イベントを実践通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	2月8日	講義・演習	イベントを実践通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz Fusion Ensemble(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明 能村亮平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	Jazzスタンダード曲、Jazz Fusion曲のアンサンブル						
到達目標	バックিং、メロディ、ソロのアプローチを演奏できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	課題曲1-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	5月10日	講義・演習	課題曲1-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	5月17日	講義・演習	課題曲2-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	5月24日	講義・演習	課題曲2-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	5月31日	講義・演習	課題曲3-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	6月7日	講義・演習	課題曲3-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	6月14日	講義・演習	課題曲4-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	6月21日	講義・演習	課題曲4-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	6月28日	講義・演習	課題曲5-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	7月5日	講義・演習	課題曲5-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	7月12日	講義・演習	課題曲6-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	7月19日	講義・演習	課題曲6-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	8月23日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	前期テスト希望曲の準備
14	8月30日	講義・演習	イベントを実践通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月6日	講義・演習	イベントを実践通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	Jazz Fusion Ensemble(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	廣瀬昌明 能村亮平
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	Jazzスタンダード曲、Jazz Fusion曲のアンサンブル						
到達目標	バックিং、メロディ、ソロのアプローチを演奏できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	課題曲7-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
2	10月11日	講義・演習	課題曲7-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
3	10月18日	講義・演習	課題曲8-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
4	10月25日	講義・演習	課題曲8-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
5	11月1日	講義・演習	課題曲9-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
6	11月8日	講義・演習	課題曲9-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
7	11月15日	講義・演習	課題曲10-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
8	11月22日	講義・演習	課題曲10-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
9	11月29日	講義・演習	課題曲11-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
10	12月6日	講義・演習	課題曲11-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
11	12月13日	講義・演習	課題曲12-1 (楽曲解説・アンサンブル)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
12	12月20日	講義・演習	課題曲12-2 (アンサンブル・演奏技術の応用を学修する)	準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する 時間外学習として、各自アナライズする
13	1月10日	講義・演習	前期からの課題曲をピックアップし、テストを行う	前期テスト希望曲の準備
14	1月17日	講義・演習	イベントを実践通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	1月31日	講義・演習	イベントを実践通じてステージ上での アンサンブル技術を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	池末信
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	4月24日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	5月8日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	5月15日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	5月22日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	5月29日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月5日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	6月12日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	6月19日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	6月26日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月3日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	7月10日	講義・演習	楽曲復習、ケイティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月21日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	池末信
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに動く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月9日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月16日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	10月23日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	10月30日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月6日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月13日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月20日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	11月27日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	12月4日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11	12月11日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12	12月18日	講義・演習	イベントリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13	1月15日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱技術を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Disco Band Ensemble (5) Disco Band Ensemble A (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くのジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。/潤豊(vo)THE SOULMATICsのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、剛力彩芽のヴォイストレーナーも務めている。						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	4月28日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	5月12日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	5月19日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	5月26日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月2日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	6月9日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	6月16日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	6月23日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	6月30日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	7月7日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	7月14日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	8月25日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Disco Band Ensemble (5) Disco Band Ensemble B (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くのジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。/潤豊(vo)THE SOULMATICsのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、剛力彩芽のヴォイストレーナーも務めている。						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	4月28日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	5月12日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	5月19日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	5月26日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月2日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	6月9日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	6月16日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	6月23日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	6月30日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	7月7日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	7月14日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	8月25日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Disco Band Ensemble (6) Disco Band EnsembleA (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くのジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。/潤豊(vo)THE SOULMATICsのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、剛力彩芽のヴォイストレーナーも務めている。						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
2	10月13日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
3	10月20日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
4	10月27日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	前週の授業を踏まえ自己練習
5	11月3日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	課題曲各パートアナライズ
6	11月17日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	11月24日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	12月1日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	前週の授業を踏まえ自己練習
9	12月8日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	課題曲各パートアナライズ
10	12月15日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
11	1月12日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	1月19日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
13	2月2日	講義・演習	課題曲13 総復習	課題曲各パートアナライズ
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Disco Band Ensemble (6) Disco Band EnsembleB (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くのジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。/潤豊(vo)THE SOULMATICのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、剛力彩芽のヴォイストレーナーも務めている。						
授業の学習 内容	4リズム (Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
2	10月13日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
3	10月20日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
4	10月27日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	前週の授業を踏まえ自己練習
5	11月3日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	課題曲各パートアナライズ
6	11月17日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	11月24日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	12月1日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	前週の授業を踏まえ自己練習
9	12月8日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	課題曲各パートアナライズ
10	12月15日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
11	1月12日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	1月19日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
13	2月2日	講義・演習	課題曲13 総復習	課題曲各パートアナライズ
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブル力を学ぶ	課題曲各パートアナライズ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				